

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ぷりすくーる西五反田
所在地	品川区西五反田 3-9-9

1 活動のテーマ

音、楽器

<テーマの設定理由>

園で身の回りの音を聴いたり、楽器に触れたりできる環境を生かし、「音、楽器」をテーマとして設定した。
乳児が音を聴いてその印象を感じ、共鳴することで、豊かな感性や美的判断力につながる美的情操を養うことを目的とするため。

2 活動スケジュール

活動日①2025年11月5日	「弦楽の音の美しさを聴く活動」
活動日②2025年12月17日	「さまざまな楽器に触れて音を出す活動」
活動日③2026年1月22日	「音楽演出を加えた読み聞かせ①」
活動日④2026年2月18日	「音楽演出を加えた読み聞かせ②」

3 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

※活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具

活動日①弦楽団を園に招き、音楽会を開催
活動日②カスタネット、鈴、タンバリン、木材、ボウル、バチを用意した
活動日③④レインスティック、木琴、電子ピアノ、ウインドチャイム、アコーディオン、シンバル、ウッドブロックなどを用意した

4 探究活動の実践

<活動の内容>

活動日①弦楽団の生演奏会を通じた乳幼児の情操の育ちについて、主に表情や仕草など身体反応から情緒の変化を観察し、分析した
活動日②音の質感や特性を五感で感受し、表現の喜びを育むことを目的とする。手に取り、奏でやすい楽器を用意し、それぞれの反応や遊び方を観察する。特に表情、動き、接近行動、発言、五感の反応について記録し、興味・探求心の程度や音と身体の相互作用、言語表現の豊かさについて分析した
活動日③④音楽による物語の世界観や感情表現の理解を深めることを目的とする。読み聞かせのみの時の様子と音楽演出を加えた演出による反応の違いを観察する。活動に参加している際の集中度、表情、身体の動き、声の反応、行動観察を記録し、音楽が美的体験に与える影響を分析した

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

※活動の様子が分かる写真を2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)

①今回の演奏会では、子どもたちが音楽に対して多様な反応を示し、情緒や感性が育まれる様子が見られた。特に、聞き馴染みのある曲では集中力が高く、身体反応や感情表現が豊かであった。年上児の参加によって模倣や憧れの気持ちが引き出され、音楽を通じた社会的関心の広がりを感じられた。

②すずは音色を聞いて「チリンチリン」「シャリンシャリン」「ジングルベルの音」「きれいな音」と表現しながら鳴らしていた。そうっと鈴を鳴らして「赤ちゃんの音」「うさぎさんの声みたい」と強弱を表現する子どももいた。タンバリンは机の上に置いて太鼓のように両手でリズムを刻んで鳴らしていた。「電車の音」「雷みたい」「音が大きい」という声も聞かれた

③④「新幹線、飛行機」「水、雨」「流れ星、星、アナ」などイメージするものを答える。「びっくりしたけど良かった」「面白かった」「火が燃える音が怖かった」「(木琴は)コンコン」「キョーン」「(シンバルは)ガラスが割れたみたいな音」「鐘の音みたい」と言っていた



5 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

・弦楽団の演奏会では音の強弱や曲調の変化に合わせた身体を揺らす、手を動かす等の身体表現が見られ、音楽的要素に対する感受性が育まれている事が認められた。

・楽器、音楽遊びを通して「試す」「考える」「工夫する」「発見する」「伝える」「誘う」「一緒にやってみる」などの経験をし、音色や響きに興味をもつだけでなく、その音を聞いて自ら身体を動かしたり、歌ったりと楽しい気持ちや笑顔に繋がった。また楽器を介して他児との会話や関わりも深まり、“音を合わせる楽しさ”も共有し、視線を合わせて楽しんでいた。この検証を通して楽器に触れて音を鳴らしてみることによって、感情や表現力が豊かになる、思考力が伸びる、コミュニケーションが深まることが認められた

・音を使ったお話を見る活動では、効果音を加えることで話の雰囲気や臨場感をより具体的にイメージし、楽しさ、恐ろしさ、暑さ、寒さなどをイメージして体感する姿も見られた。音があることにより、想像力や表現力も育まれ、幼児の情操をより豊かにすると言える